9/21 赤旗

戦争法廃止へ声大きく

神奈川 県在住学生ら1300人が抗議

神奈川県在住の学生らが呼びかけた「さよなら、戦争法案。神奈川学生デモ」が20日、横浜市中区で開かれました。1300人が風船を手に「これから始まる民主主義」「選挙に行こうよ」などと訴えました。街頭から手を振る人、握手を求める人、飛び入りする人が相次ぎ注目されました。主催は実行委員会。

デモに先立つ集会で、実行委員会代表の大学2年の加藤有紗さんは「民主主義、平和主義、立憲主義を壊す安倍政権と戦争法にさよならを告げましょう」と呼びかけ、大学4年の瀧本深祈さんは「日本を普通の民主主義の国にするため、気付いていない人に気付いてもらうため、地域で声をあげていきたい」と語りました。

横浜市立大学国際総合科学部の山根徹也准教授が「人々のうねりが必ず政治を変えていく」と訴え、飯田学史弁護士が「参院選で国民の声を誠実に聞き、憲法によってしばられることを深く自覚した議員をたくさん当選させよう」と述べました。

日本共産党の大山奈々子県議、社民党の金子豊貴男相模原市議、民主党の藤理恵横浜市議があいさつ。大山氏が共産党の発表した戦争法廃止の国民連合政府を紹介し「野党は結集しろの声を高めてください」と語ると大きな拍手に包まれました。

チラシを見て妻と参加した天野泰彦さん(45)は「安倍政権を終わらせたい。ツイッターで志位さんの国民連合を知った。ぜひつくって戦争法を廃止に追い込みたい」と語りました。

日本共産党の畑野君枝衆院議員と椎葉かずゆき参院比例候補、あさか由香参院神奈川選挙区候補も行進しました。

パレードで「これから始まる民主主義」と訴える学生ら=20日、横浜市中区

井の頭公園を出発するパレード参加者=20日

東京 「あきらめない」1000人パレード

強行採決後初の日曜日の20日、「吉祥寺PEACEパレード」が東京都の井の頭公園三角広場で開かれました。同実行委員会(高橋茂委員長)が主催。約1000人が参加して公園周辺をパレードしました。

「絶対に諦めない。戦争反対!安倍政治を許さない!」。街に響くコール。ネットでこの日のパレードを知って北九州市から駆けつけた高校3年生の渡田岳さん(17)は「今日行動しなければあんなひどいことを認めてしまうと思い、ネットで検索したらここにたどり着きました。抗議の意思を街頭で表すのは初めてです」といいます。

静岡県富士宮市から参加した菅沼祐子さん(47)は中学3年生の伶さん(14)、小学生の陽さん(10)の3人で参加しました。「憲法違反の集団的自衛権行使は絶対に認められないです。家族で参加しました。この子たちが戦争に駆り出されたらたいへんです」といいます。

高橋亜希子さん(42)は「居ても立っても居られない気持ちできました。平日は家の中で叫んでいました。外で叫びたいときました。安倍首相の言っていることはメチャメチャです。市民デモに参加して勇気がでました」と語っていました。

パレードには日本共産党の宮本徹衆院議員、山添拓参院東京選挙区候補らが参加し行進。民主党の菅直人衆院議員も参加しました。

「戦争法の廃止まであきらめない」と街頭で訴えるママ、学生、学者=20日、高知市

高知 学生とママら共同で訴え

戦争法案に抗(あらがう)高知県学生の会(PEDAL)と安保関連法に反対するママの会高知、安保法に反対する高知県大学人声明は共同で20日、高知市の街頭で、戦争法の廃止を訴えました。日曜市に来た多くの人が立ち止まり、耳を傾けました。

ママの会高知の長谷川都さん(35)。「ママは絶対あきらめない」とし、「強行採決を忘れず、身近なところで平和な未来を守ろうと呼びかけたい」と語りました。

飛び入りで参加した県立大学で憲法学を教える小林直三教授(41)は「反立憲主義、反民主主義だけでなく、防衛で市民が犠牲になる反人権主義な法である。こんな法を強行した政府に国際社会での信頼が勝ち取れ、国際貢献が出来るはずがない」と強調しました。

「黙っていたら自分の責任を放棄することになる」とSNSで知り、初めて街頭で訴えた県外の大学生の山崎羽衣子さん(28)。「安倍首相は、国際的な責任を果たすと言うが、それは米国の兵站(へいたん)をすることなのでしょうか。憲法9条こそ本当の国際貢献だ」と訴えました。

ママの会高知は、演説中にママ・パパに緊急アンケートを行い、33人中27人が強行採決反対と答えました。ママの会の島崎里美さん(35)は「同じ思いのたくさん親と一緒に廃案へ頑張りたい」とのべました。

戦争法案に抗(あらがう)高知県学生の会(PEDAL)は19日にも、戦争法の廃止を求める音楽イベントを開き、親子や青年など約100人が立ち寄り、PEDALの高知大2年生、亀田さくらさん(20)は「私は、戦争で食べていく国を『美しい国』とは思わない」と訴えました。